

中原消防団 広報誌

第20号
発行平成27年7月
題字中田 隆氏

翔太



第44回中原消防団消防大会開催

大戸分団 総合優勝

小型ポンプ操法大戸分団 通算19度目の優勝



前列 草間班長 後列左より 松浪団員、長島団員、徳江団員



筒先員交替

●喜びの声●

優勝した大戸分団より
指揮者 草間茂人班長
(大ヶ谷戸東町町内会)
この度、本大会に指揮者として参加し優勝という結果を得られた事はきつと忘れる事が出来ません。これまで操法に出場する事も暫くありませんでしたし、ましてや今回は指揮者という事で、自分はやりきる事ができるのか？他の選手を引

つ張っていきけるのか？大変不安に感じました。しかしそんな不安が払拭出来たのは、第一に団員、指導員の皆様の惜しみないご協力があった事、そして何より選手の皆様と優勝という目標に向かつて訓練に励む事が出来た事だと思えます。今後も、一団員としてサポートしていきたいと思えます。宜しくお願い致します。

1番員 松浪健太団員

(神地町内会)

優勝することができて本当に嬉しいです。ただ、直さなければいけないところや試したいことはたくさんありましたし、訓練も楽しかったので大会が終わってしまったので残念な気持ちもあります。初めは入団したばかりでちゃんとできるようになるのか不安しかありませんでしたが、最終的に優勝するところまでこれたのは熱心に指導してくださった大戸分団の方々のおかげです。本当にありがとうございます。

2番員 長島秀成団員

(新城中央町内会)

消防団には何かお手伝い



点検報告

3番員 徳江 勲団員

(大ヶ谷戸小田中町内会)

今回初めて操法の選手になり最高の結果を得る事が出来ました。すごうれし

大会成績

総合優勝
大戸分団

一般競技の部

優勝 大戸分団
準優勝 玉川分団
三位 住吉分団

小型ポンプ操法の部

優勝 大戸分団
準優勝 丸子分団
三位 中原分団

各団体表彰

中原防火協会会長賞	総合優勝	大戸分団
中原消防団OB会会長賞	総合優勝	大戸分団
	小隊訓練競技優勝	住吉分団
川崎北ロータリークラブ会長賞	小型ポンプ操法優勝	大戸分団
セレサ川崎農業協同組合長賞	一般競技優勝	大戸分団

出来ればどの思いで八年前に入団しました。住まいが多摩区というのと、仕事の都合で活動にあまり参加出来ず、退団を考えたこともありましたが、先輩方々から何度も操法へのお誘いがあり、決心して選手に名乗り出ました。想像以上に仕事との両立は厳しいものでしたが、皆様からの応援で何とかやり遂げられました。これからも消防団の一員として頑張ります。

第44回中原消防大会を終えて



中原消防団長 小島 光 儀

第44回中原消防団消防大会が晴天に恵まれ、多くのご来賓の皆様にご臨席頂き、また、地域の皆様の大盛んなご声援と高嶋中原消防署長をはじめ署員の方々のご協力を受け、無事に大会を終えることができました。これも関係各位のご支援、



中原消防署長 高嶋 敏

第44回中原消防団消防大会が中原区長をはじめ、多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り、盛会裏に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。一年に一度のこの大会に向け、本業の傍ら数ヶ月も前から昼夜、休日を問わず厳しい訓練に励まれてこられました成果が遺憾なく発揮されたことと思えます。また、出場選手を陰日な

ご協力の賜と団員一同心より感謝申し上げます。団員の皆様には、グラウンドの改良工事のため、催し物広場が使用できない時期もありましたが、長期にわたる訓練大変お疲れ様でした。重ねて御礼申し上げます。

さて、東日本大震災から4年が経過する今日においても、なお強く記憶に残っておりますが、各地で地震が頻発し、火山の噴火も全国的に起きており多くの人々に不安を与え続けています。災害を回避することはでき

ませんが区民一人ひとりが災害に備える意識を持ち続けていたきたいと思います。消防団員は、そのために訓練を重ね消防力を強化し、いざ災害が発生した時には迅速に対応していかねばと思えます。

中原消防団は、今年90周年を迎え、強固な精神を鍛え郷土愛を育み、更に飛躍していく所存です。地域の皆様には、これからも尚一層のご支援を受け賜りますようお願い申し上げます。

たととなり支えて来られましたご家族様、町内会の皆様、そして消防団をご卒業されましたOBの皆様に対しまして心から感謝申し上げます。

中原消防団は「ポンプ操法大会」とは言わず「消防大会」と言っておりますが、その理由は訓練内容を見れば一目瞭然。

小型ポンプ操法は種目の一つに過ぎず、防火衣着装訓練をはじめ、ホース延長・伝令・収納訓練、実戦応用操法、訓練礼式を取り入れた小隊訓練など正に実災害に即応した実戦を旨とする訓練であります。

また、自主、自立を旨とする中原消防団は小島団長指揮の下、事前準備から当日の式典運営諸々に至るまで全団員が一致協力して見事なまでの行動をされておりました。これも平素から培われた団結力・組織力が遺憾なく発揮されたものと思えます。

さて、大会が終わり一段落されていることと思いますが、我々防災に携わる者に休んでいる暇はありません。災害はいつ発生するかわかりません。今回の訓練等で培った知識・技術・体力に更に磨きを掛け、今より1秒でも早く防火衣を着

装し、今より1秒でも早くポンプのエンジンを始動し、今より1秒でも早くホース延長を行い、今より1秒でも早く患者に接触し安心を与える。

僅か1秒ですがこの1秒が延焼を防止し、生死を分けることになるかもしれません。訓練は嘘をつきません。現場は正直です。実力無き者が散々打ちのめされるのが正に「現場」です。中原消防団の皆様は平素から消防活動に対して高い理念と現場対応力をお持ちです。更に訓練を積み、磨きをかけて地域の防火・防災という崇高な任務遂行

に励んでいただかと思えます。中原消防員もこのように素晴らしい中原消防団の皆様と共に災害対応が出来ることを誇りに思っておりますので、共に頑張りましょう。結びになりますが、中原消防団のますますのご発展と団員皆様並びにご家族様のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げます。

一般競技優勝者

☆ホース延長・伝令・収納

大戸分団

- 小泉 徳 浩 団員 (神地町内会)
- 大場 隆 班長 (上新城町内会)
- 高橋 則 広 団員 (大ヶ谷戸向町会)



☆応急・救護

玉川分団

- 野口 清 一 団員 (中丸子中町内会)
- 丸本 秀 男 団員 (中丸子東町会)
- 木村 武 三 班長 (中丸子親交会)

五川分団

- 岡田 周太郎 団員 (上平間第一町内会)

住吉分団

- 指揮者 安斎 龍也 部長 (市ノ坪仲町会)



選手宣誓 玉川分団 横溝秀喜 班長



アトラクション「ようかい体操第一」



実戦応用操法

中原中学校 避難所運営会議防災訓練

平成27年5月24日(日) 中原中学校避難所運営会議による防災訓練に中原中学校を避難所とする町会を持つ丸子分団・中原分団が参加しました。



AED説明

防災の心構えとしてビデオ鑑賞、AED概要説明の後、二班に分け体育館ではAEDの使用法・心肺蘇生法及び三角巾等による応急救護の訓練。



心肺蘇生法の指導

校庭では起震車体験・簡易トイレの組み立て及び使用法、発電機・投光器の使用法並びに初期消火訓練を実施。



簡易トイレの組み立て

港北消防団 第五分団 夏季訓練会参加

平成27年6月21日(日) 横浜市立下田小学校での港北消防団第五分団(分団長以下95名)夏季訓練会に中原消防団より小島団長、三上副団長、隣接する住吉分



倒壊家屋から救出訓練

団員7名が参加しました。震災想定訓練では消火訓練及び倒壊建物からの救出・救護活動が行われ、広域応援要請を受けた中原消防団が消火活動に加わりました。



港北・中原による放水

その後、訓練会は第五分団・第一班から六班の小型ポンプ操法が実施され見学しました。大規模災害に備え近隣消防団との連携強化を図るよい機会となり、これを継続することが重要だと実感しました。



ウォーターカーテン

(住吉分団 安藤)

団長特別表彰



小島団長より表彰される

大戸分団・松浪健太団員が平成27年3月の第8回階段駆け上がりレース川崎大会・消防団男子の部優勝の功績を讃えられ消防大会において表彰されました。

ポンプ性能検査



入念に検査を行う

平成27年4月24日(金)中原消防署にて車載小型ポンプ9台、対震用小型ポンプ10台の真空及び放水性能検査を実施。等々力広場が整備の為使用できず、前半・後半の入れ替え制で行う。

中原消防団本部旅行 ― 九州の旅 ―



名勝高千穂峡にて

上がる阿蘇山の雄大なパノラマを見学、黒川温泉に宿泊しました。黒川温泉は九州で人気ナンバーワンの温泉地といわれ、旅館は中小規模ですが従業員は親切な若者が多く、街並みはとて綺麗でおしゃれなお店が並び、街を歩く人も若者が目につきました。夕食後には旅館の幹事部屋で消防団活動について熱心な討議がなされました。

平成27年2月6日(金) 8日(日)、中原消防団本部旅行が行われました。

今回の参加者は団本部6名、分団長5名、元団長1名、分団長6名、と急ぎよ参加することになった元署団担当の計18名です。

1日目は大分空港に到着後、別府温泉地獄と由布院温泉を観光しました。観光客には外国の方が多くみられ、バスガイドさんの説明によると、日本の温泉文化が人気の理由だそうです。

一泊目の雪が積もる大分県筋湯温泉に到着した後、現職団員は分団長会議を開催し各種重要事項を審議しました。

2日目は宮崎県の高千穂峡、高千穂峡を参拝見学、午後は熊本県に入り噴煙が

3日目は福岡県水郷柳川で川下りです。船頭さん自慢の舟歌を聞きながらどんこ舟で、城下町のお堀めぐりを楽しみました。夕方にはお土産を買い求める乗客で混雑する福岡空港を出発し、夜の羽田空港に到着しました。

今回の旅行で中原消防団幹部はさらに連携を深め、これからの目標に向かって一致団結して邁進するものと思われます。
(元消防署員 小池秀雄)

小池様、素敵な寄稿をありがとうございました。これからも中原消防団の事をよろしくお願致します。
(広報委員)

中原消防団 団員募集

〜すぎです このまち みんなでまもろう〜

中原消防団では一緒に地域を守る仲間を募集しています。

ここである新人消防団員の話を紹介します・・・

◆入団のキツカケ

この地域に転居してきて数年が経過し、町内会や消防団などがある事も知らずに生活していましたが、普段挨拶している近所の商店街の人(消防団員)に声を掛けられました。

◆消防団に勧誘された直後の考えは...

消防団という団体の存在は知っていましたが、仕事も忙しくて帰りも遅いし休みの日はゆっくりしたいし自分の事を優先したい、それに何だか面倒かも...考えていました。

◆入団に気持ちが傾いた訳は...

声を掛けられたのをきっかけに、そう言えば今住んでいる街の事を何も知らない事に気付きました。そこで、消防団に入ればこの街の為

に何か出来るのではないかと考えて、元団員の方の話を知りたくして3日後に入団を決めました。そして入団の挨拶をした数日後に東日本大震災が発生しました。

◆実際に入団してみると

地域のお祭りの警備、自主防災訓練、歳末警戒や時期がくると夜に消防大会の訓練、そして会合(飲み会)もありですが、それでも思っていたよりも仕事を疎かにする事もなく、むしろ仕事を早く終わらせ様とする自分があるので仕事の能率が上がったかも知れません。余談ですが、消防大会に向けた訓練期間は体を動かすので以前より健康的になったかもしれません。

◆消防団に入って良かった事

利害関係が無く付き合える大人の仲間が増えたのは嬉しい出来事でした。応急救護など災害の時に役立つ技術も覚えられます。

町内会の防災訓練などで地域の人達との知り合いが増えて、街を歩いていても



挨拶する機会が多くなった。自分が住んでいる地域をもっと好きになれた。

◆今、消防団に入ってる思う事

火事もそうですが、自然災害は他人事ではありませんし講習などで地域防災は消防署(消防職員)だけでは間に合わない事も知りました。防災や減災は住んでいる人達みんなで考えて行動しないとイケない事を知りました。

◆団員募集にあたって一言

「この街で「何ができるのか?」を一緒に考え行動しませんか? もしも!の時にこの街(家族)のために一緒に活動しませんか?」

消防団員募集について

消防団は市町村の消防機関の一つで、普段は別の仕事を持つている非常勤特別職の地方公務員です。平時時には、火災予防広報や防災訓練指導のほか、大地震などの大規模災害時には、消防団の役割は大きく、災害から街と人々を守るために、消防団員の力が必要となります。〈地域を愛する、多くの方々の参加をお待ちしています。〉

【入団資格】

- ・年齢が18歳以上で心身ともに健康な方
- ・(性別は問いません)
- ・中原区に在住、在勤、在学する方

【問合せ先】

お近くにお住いの消防団員または中原消防署予防課庶務係までお問い合わせ下さい。
☎044(四二)0119

消防団のドラマ始まる

7月7日から毎週火曜日、午後10時からフジテレビで消防団を舞台としたドラマ『HEAT』が始まりました。



列伝・分団の人気者



丸子分団 池上陽子 (上丸子八幡町町会)

「震災の後、平和な時でも皆が少しずつでも助け合うことが大切」と思い、丸子分団に入団した池上団員は中原消防団内でも有名な元CAの美人団員です。

日頃から救急救命の普及や消防技術を磨くことに余念がありません。今回の消防大会でも会場アナウンス、選手としては2年連続の防火衣装着競技に出場。「社会に貢献でき楽しいです。皆さんも一緒に活動しませんか」と新入団員勧誘まで、フル活躍です。
(丸子分団 大高)

叙勲

元・中原消防団副団長の川野正久様が平成27年春の叙勲において瑞宝単光章の栄に浴されました。誠にありがとうございます。

褒章



中原消防団・三上能樹副団長が平成27年春の褒章で藍綬褒章を受章されました。誠にありがとうございます。

編集後記

中原消防団広報誌「翔太」第20号をお届けします。発行にあたり、ご協力に深く感謝致します。

発行責任者	小島 光儀
編集	中原消防団広報部
広報部長	原 充功
中原分団	坂西 利秋
大戸分団	峯岸 雅宏
	原 清郊
住吉分団	大場 隆
	横山 芳春
	田口 真弓
玉川分団	高橋 恒行
丸子分団	大高 淳司
	山本 喜道